

特別講演 1

「心房細動に出会ったら」

(財)心臓血管研究所 研究本部長

山下 武志 先生

心房細動はもっとも古くから記載されているなじみ深い不整脈である。近年、社会の高齢化に伴いますますその罹患患者数が増加するとともに、重症脳梗塞の原因疾患としても広く一般人にも知られるようになった。しかし、治療する側に立ってみれば迷うことばかりで困りものの不整脈とも言える。患者の多様化とクリニカルエビデンスがより迷いを生じさせているともいえる。本講演では多様な心房患者にエビデンスを用いながら適応するツール、3ステップで管理する心房細動診療の考え方とともに、2008年発表された心房細動ガイドラインのエッセンスを紹介したい。